

自ら学ぶ力を育むためのESD

～地域と学び、自ら目標を立て、学びの幅を広げる子どもの育成～



名古屋市立内山小学校 校長 赤堀 英則

〒464-0075 名古屋市千種区内山一丁目4番15号

TEL 052-741-1257 FAX 052-732-2364

URL <http://www.uchiyama-e.nagoya-c.ed.jp>

事業のねらい

本校の児童は、たくさんの方が行き交う駅、オフィスビル、古い家、商店街など多様な住環境で過ごしています。また、校内では、児童数120名程度の親しみやすいコミュニティで過ごしています。そこで、より広く多くの人との関わりをもつことが本校の児童の未来に生きる力につながると考え、2年前から、防災学習を手立ての中心にして「地域と共に未来の内山学区を考える」をめあてとして、関わりを広げてきました。地域と共に避難所生活を体験したり、消防団と協力して避難訓練を行ったりと、地域と共に実践し、そこで学んだことをより広い地域に伝えるために、コミュニティセンターや名古屋大学で報告してきました。これらの活動を踏まえ、本年度は、学んだことを伝える場を広げ、伝えるだけでなく、いただいたアドバイスや意見から防災意識をさらに高め、地域への愛着も強くして、自ら次の目標を考え、学びの幅を広げることができるようにしていくことをねらいとしました。

事業の内容

大きな地震が起これば、学区ではビルの崩壊、あふれかえる人々の混乱が予想されます。そこで、一人一人が自分の命は自分で守れる児童を目指して取り組んでいます。本年度の主な活動は、休み時間や清掃中に行う避難訓練、校内や学区の防災マップ作り、家庭と連携して避難経路を家族と歩いて防災を考える活動を行ってきました。さらに、その学びを具体的に地域に働きかけたり、学校内で広めたりする活動を行っています。**知る→考える→行動する**の学習活動のスパイラルを通して、防災意識を高めさせ、自ら学びとろうとする力をつけています。



【地震の仕組みを知る】



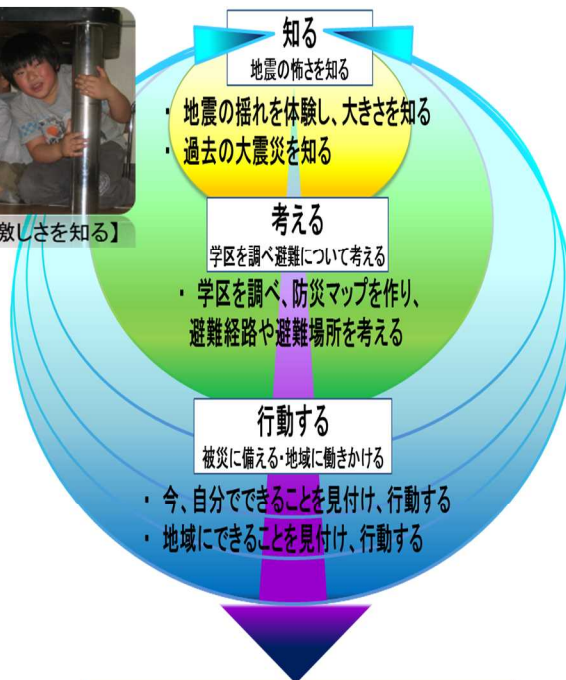
【大地震の激しさを知る】



【学区の危険なところ安全なところを知る】



【隣の保育園児に避難方法を教える】



【身近な物で手当する方法を学ぶ】



【避難所(学校)での飯ごう体験】

防災について自分で考え、行動できる子ども

事業の成果

防災学習を学んでいく過程で、以下のように児童自ら行動を起こすまでになったことが、成果と考えます。

① 校内の防災マップ作り

休み時間に行われた避難訓練では、教師がいないと怖いと思う低学年の割合が高いことを知った高学年児童の提案で、どこにいても危険な箇所を見極められる校内防災マップを作りました。さらに、五・七・五の俳句のリズムで防災カルタを作り、低学年に高学年が防災マップを教えに行ったり、カルタを使ってクイズをだしたりして、安全意識を校内に広めていく活動ができました。

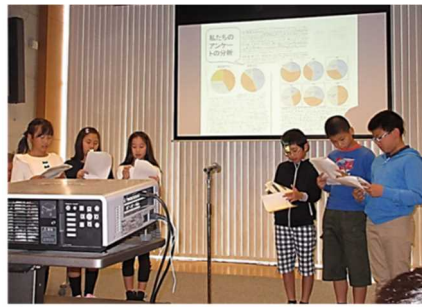


② 学区の防災マップ作り

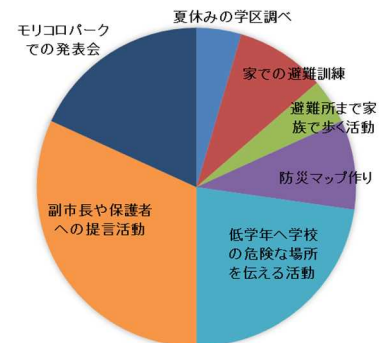
大地震は学校外にいる時間に多く発生していることを知り、家族で避難経路にあるビルの耐震やガラスの落下などを調べながら避難所まで歩き、その情報を基に学区の防災マップを作りました。【1年生に防災マップの説明をする5年生】製作中に見えてきた学区の危険性と、未来の安全な学区についての考えを、保護者と副市長に聞いていただきました。さらに、愛知県が主催するESDの活動発表会で今までの学習活動を報告しました。目的意識をもって学んだ内容を伝え、聞いた方からの感想を伺うことで、伝えることの手応えを感じ、学び続ける意欲を高めることができました。



【保護者と副市長へ向けた発表】



【ESD愛知県大会での報告】



【防災学習で一番よかった活動】

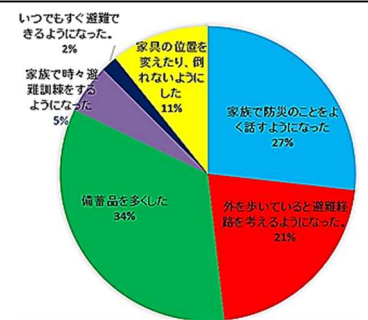
事業のまとめ

① 学習の有用性

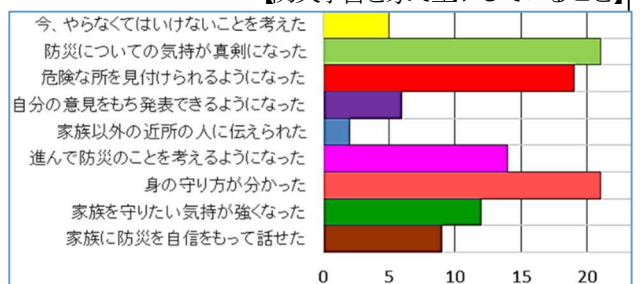
本年度の防災学習は、学校内にとどまらず、保護者・地域・行政・県内の他校との交流へと児童の交流の幅を広げてきました。家族で避難経路の危険性を考えるようになったり、災害に備えて、家具を固定したり安全な位置に動かしたりと協力的に取り組む家族が増えました（右図）。

② 児童の変容

もっと科学的に地震や被害について学びたい、もっと広く伝えていきたいなど意欲が高まりました。また、防災について真剣に考えるようになったことや常に危険な場所を見付けるようになったことなど意識の変容を自覚するまでになりました（右図）。実際に大きな地震が起こった際には、自分たちの学びが災害時に活かされるように、大きな声を挙げ、率先避難者になりたいと、児童は、具体的に自分の姿を想像して考えるようになってきています。また、地域を愛し、将来に向けて地域に根ざした防災を学び続けたいと願うまでになりました。防災学習は、地域にしっかりと根を張る市民の一員となる児童の「生きる力」の一つとして、自ら学び続ける姿勢を養うことができました。



【防災学習を家で生かしていること】



【防災学習での児童が感じる自身の変容】